

# ツール・ド・九州2025関連業務（大会準備・運営、マーケティング、プロモーション） 委託仕様書

※本仕様書は2026年（令和8年）3月31日までの委託期間におけるものであり、そのうち、令和6年度の契約内容となる業務内容は、下記7業務内容に示す業務のうち、下線を付している業務とする。

## 1 目的

九州の魅力発信とサイクルスポーツの普及拡大等を目指して、2025年に国際自転車競技連合公認サイクルロードレース「ツール・ド・九州2025」を開催するにあたり、大会準備や本番の運営のほか、マーケティングやプロモーション等の業務を一括で委託するもの。

## 2 委託期間

契約締結日から2026年（令和8年）3月31日まで

## 3 ツール・ド・九州2025概要（予定）

形態	UCI（国際自転車競技連合）認定国際サイクルレース
主催	ツール・ド・九州2025実行委員会 一般社団法人ツール・ド・九州
開催時期	2025年（令和7年）10月
レース形式	転戦型ステージレース （開催地：長崎県、福岡県、熊本県、大分県、宮崎県）
参加チーム	18チームを想定
大会日程	<エキシビジョンレース> 2025年10月10日（金）長崎県（佐世保市）でのクリテリウム <福岡ステージ> 2025年10月11日（土）福岡県内でのロードレース <熊本ステージ> 2025年10月12日（日）熊本県内でのロードレース <宮崎・大分ステージ> 2025年10月13日（月・祝）大分、宮崎県内でのロードレース

## 4 業務の遂行

本業務は、実行委員会の事務局である一般社団法人ツール・ド・九州、並びに各ステージ開催の地元調整や賑わい創出を担当する各県のツール・ド・九州所管課（福岡県国際スポーツ大会推進室、熊本県スポーツ交流企画課、大分県スポーツ振興室、長崎県スポーツ振興課、宮崎県スポーツランド推進課）の指示に従い遂行するものとする。

なお、各県からの指示により追加で経費が発生することが見込まれる場合は、必ず発注者と協議・調整のうえ実施するものとする。

## 5 人員配置等

### (1) 統括マネージャー及びステージマネージャーの設置

統括マネージャー1名を配置し、大会開催にかかる警備、設営、イベント運営、広報、協賛営業、宿泊輸送、映像配信等、本件業務委託の範囲にとどまらず、大会準備の全体について横断的に調整し、準備業務を進めていくこと。

各県（ステージ）毎にステージマネージャー1名（原則現地駐在）を配置し、各県（ステージ）からの業務指示に的確かつ遅滞なく対応できる体制を構築すること。

### (2) 競技団体との連携と専門人材の確保

自転車競技の専門性・特殊性を踏まえ、日本自転車競技連盟（JCF）および各開催県自転車競技団体と連携、調整のうえ、受託業務を執行すること。

また、雇用もしくはアドバイザー契約を結ぶ等の方法で、専門人材を確保・配置し、円滑に業務が遂行できる体制を構築すること。なお、専門人材の人選にあたっては、発注者と協議のうえ決定すること。

### (3) 競技ディレクターの招聘

UCI認定国際ロードレースとしての競技レベルを確保するため、海外から競技ディレクター1名を招聘し、競技全般の監修を受けること。

また、競技ディレクター来日によるコース視察、運営打ち合わせを大会までに3回程度実施すること。視察時、大会期間を含め、競技ディレクターの交通手段、宿泊、食事の手配を行うこと。

## 6 業務概要

(1) 大会準備・運営業務

(2) マーケティング業務

(3) プロモーション業務

## 7 業務内容

2026年（令和8年）3月31日までの委託期間における業務内容は以下の（1）から（3）のとおりであるが、今後の調整の過程で業務内容の修正及び追加が必要となった場合は、これに対応することとする。なお、このうち2024年度（令和6年度）に想定する業務は下線を付している業務とする。

### ① 大会準備・運営業務

(1) 大会準備・運営

ア 業務実施スケジュールの作成

受注後速やかに、受託業務を円滑に実施するための詳細なスケジュール、準備期間並びに大会当日の人員配置体制の案を作成し、発注者の承認を得ること。

#### イ 全ステージに共通する準備・運営業務

大会準備・運営が円滑に実施できるよう、関係者との連絡調整を密に行いながら以下の業務を行うこと。

##### (a) 各種計画・マニュアル類の作成、印刷、製本等

・大会実施に必要な各種計画、レイアウト図、進行台本、マニュアル類を作成し、印刷・製本を行うこと。作成する計画、マニュアル類等の種別については、別表のとおりとする。

##### (b) 準備期間中・大会期間中の諸会議のサポート

・大会準備期間における関係者会議及び大会期間中の監督会議、ドライバーズミーティング等の諸会議開催のサポート

##### (c) 関係機関への諸届け手続き補助

・国際自転車競技連合等の関係機関との手続きに必要な図面及び資料の作成

##### (d) 各ステージに共通する設営物や器材等の設置計画、製作、設営、撤去

・スポンサーバナー

・スタート・フィニッシュガントリー

・競技用サイン（距離表示、スプリント、KOM、方向指示、フィードゾーン等）

・会場案内サイン（ゾーンング、誘導、トイレ案内等）

・各種セレモニー（チームプレゼンテーション、スタート、フィニッシュ、表彰式等）の設営物

・その他競技・大会運営に必要な設営物や機材等

※全ての看板等は、両面から視認できるものとする。

##### (e) 各賞ジャージ・メダル等のデザイン・制作

・総合時間賞、山岳賞、スプリント賞など、各賞ジャージ、メダル、トロフィー等のデザイン及び制作

##### (f) スタッフウェア等のデザイン・制作

・競技役員、大会スタッフ、ボランティア、メディア関係者等が着用するスタッフウェア、ビブス、キャップ等のデザイン及び制作

##### (g) チームプレゼンテーション、各種セレモニー（スタート、フィニッシュ、表彰式等）の運営管理

・企画、準備、会場手配、当日の進行管理

・MC、ステージ設備、音響機材、大型ビジョンの手配

・入賞者に贈呈する賞典の手配・管理

##### (h) 大会プログラム及び報告書の作成・説明物関係の記録写真の撮影

※全設営物（製作物）について、納品（設営）時、使用（運用）時、撤去時の3種類の写真（日付入り）を必ず撮影し、業務完了報告書として提出すること。また、大会期間中、レース以外の部分についての写真（会場の様子、協賛社バナー・ブース等）も撮影すること。

※写真（日付入り）の添付が無い場合は、委託費を支払えない場合があります。

(i) 競技関連業務

- ・レース結果（コミュニケ）の印刷・掲示・配布（関係者宿泊ホテル等へ配布）
- ・競技看板（残距離・周回板）等の設置・管理
- ・水・氷の手配（救護用・選手クールダウン用・審判用・ニュートラルカー用）・配置・管理
- ・競技・運営無線の系統図の作成、手配・設定・管理
- ・競技機材（計測等）の手配・管理・輸送・設営
- ・メカニック（ニュートラルサービス）手配・管理

(j) 矢印看板等の作成、設置・撤去

- ・選手がコースを間違えることがないように、コース上の全ての右左折か所に矢印看板を設置すること

(k) 大会関係車両管理

- ・大会関係車両（審判、チーム、エスコート/セーフティモト、救護、メディア、事務局等）の手配、期間中の運行及び駐車場等の管理
- ・車両やバイクのメカトラブルへの対応  
(バイクについては、メカニック1名を配置すること)

(l) 備品等の運搬・管理

- ・別途事務局が発注する運輸事業者と連携し、大会関係備品（競技機材・販売品等）の運搬・発着確認、数量管理、を行うこと。

(m) 大会本部の設置・運営

- ・大会開催直前期に佐世保市内のスタート地点付近に大会本部を開設すること。
- ・大会本部に、高速コピー機等の必要な備品を設置すること。
- ・大会本部に、競技審判の受付け、競技団体との調整、各種案内等に必要な人員を配置すること。

(n) インフォメーションブースの設置・運営

- ・大会当日、観客に対する印刷物の配布や迷子、落とし物対応等を行うインフォメーションブースを設置すること
- ・インフォメーションブースに、対応に必要な人員を配置すること

(o) 各種会議の開催

- ・大会開催前日に、大会本部において、ライセンスコントロール、監督会議、ドライバーズミーティング等の事前会議を開催すること。
- ・会議開催のための会場設営、書類作成、J C Fや各県自転車競技連盟等との調整を行うこと。

(p) 運営事務局員の手配

- ・大会開催前間に実行委員会運営事務局の事務所で作業を行う人員を複数名手配すること
- ・想定される主な作業内容：広報、表彰ステージ進行準備、AD・車両証等仕分・発送、大会スポンサーへの連絡・調整、ブース出展社アンケート取りまとめ等

(q) 大会コールセンターの設置

- ・大会開催前3か月をめぐりに大会コールセンターを設置し、各種問い合わせに対応すること。

(r) 映像配信、宿泊・輸送、賑わい創出等の受託事業者との連携

- ・本大会に関する映像配信、宿泊・輸送、賑わい創出等の事業者と連携して業務を実施すること。特に、観客の誘導や、駐車場計画の策定に当たっては、駐車台数・種別・位置、進入動線等について綿密に協議し、観客の安全や競技・大会運営に支障がないようにすること。

(s) イベント保険の加入

大会開催時の事故に備え、以下の保険に加入すること（契約者は発注者とする）

- ・賠償責任保険
- ・傷害保険（主催者及び関係者）

(t) コース視察にかかる対応

- ・競技ディレクター来日時、JCF視察等、大会開催までに数回程度コース視察を実施する。視察時に使用する車両、宿泊施設等必要な手配を行うこと。

(u) 運営マニュアル等設営運営業務に必要なドキュメント一式の取り扱い

各種計画、運営マニュアル、設営図面、進行台本、スタッフ体制図、スタッフスケジュール、作業工程表、備品リスト一覧等、受注者が本委託業務の遂行に必要な情報について一元管理してとりまとめ、事務局や他事業者とも常時、円滑に情報共有し作業できるよう、インターネット上の環境を構築すること。また、発注者が提供を求めた場合、受注者は速やかに情報提供すること。発注者は提供された情報を確認し、追加の情報提供依頼や詳細の確認依頼を行うものとする。

(v) 感染症対策の徹底

本大会を開催するにあたり、新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止のための適切な措置を講ずること。

(w) アンケートの実施、観客動員数の計測

- ・各ステージ賑わい業務受託者と連携し、来場の動機、宿泊数、観光消費額等を把握するためのアンケート調査を実施すること。パブリックビューイングを含めた大会全体の観客動員数を計測・把握し、発注者へ報告すること。

(x) 経済波及効果の分析

- ・前項のアンケート結果等を踏まえ、大会開催に伴う経済波及効果の分析を行い、発注者に報告すること。

**②その他、大会運営に必要となる諸業務**

詳細内容については、発注者及び受注者で協議の上決定する。

**ウ 各ステージの準備・運営業務**

各県に設置するステージ（エキシビジョンレースを含む）事務局と密に連携をとりながら以下の業務を行うこと。

**①会場場設営・大会運営業務**

長崎、福岡、熊本、大分、宮崎各県に設置予定の各ステージ事務局との連絡調整を密に行うとともに、以下にあげる設営物の手配や事前準備及び大会当日並びに終了後の撤収作業等を実施すること。

特に公道を使用する大会であることから、各県の警察担当者等との連携を密にし、交通規制時間内での設置及び撤去を徹底すること。

- (a) 各ステージに係る設営物や器材等の手配（製作）、設営撤去の手配を行うこと。  
※全設営物（製作物）について、納品（設営）時、使用（運用）時、撤去時の3種類の写真（日付入り）を必ず撮影し、業務完了報告書として提出すること。また、大会期間中、レース以外の部分についての写真（会場の様子、協賛社バナー・ブース等）も撮影すること。
- (b) 会場設営（施工）・撤去の立会、各種ブース設置・設営管理
- (c) 準備期間中・大会期間中の各ステージにおける諸会議のサポート
- (d) 観客・関係者輸送交通機関の運行計画及び現場での運行管理
- (e) 関係者駐車場の現場での運用・管理、警備員の配置
  - ・ 駐車誘導・駐車車両選別・リスト作成等
- (f) 有料観戦エリアの運営
  - ・ 各ステージにおける有料観戦エリアの位置、チケット販売金額、購入者特典、販売システム等について提案すること
  - ・ 大会当日に向けて、チケットの事前販売、購入者の名簿管理を行うこと。
  - ・ 大会当日は、入場ゲートの設置、当日券の販売、事前購入者のチケット確認、購入者特典の配布など現場の設営、撤収、運営管理を行うこと。
- (g) 関係機関への諸届け手続き
  - ・ 会場借用申請、道路使用許可申請等手続き図面等
- (h) 選手招聘、宿泊手配、バス・トラック手配を行う受託事業者との連携
  - ・ 選手導線、各種セレモニー調整
  - ・ チームサポートカーの運行スケジュール作成・管理、会場進入導線等調整
  - ・ 給油所、充電スポット、水素ステーション等の確認
- (i) 臨時ネット回線の手配
  - ・ 臨時光回線設置、設置工事に係る各種申請書類作成含む
- (j) コースの安全対策、環境整備
  - ・ コースの路面状況の点検
  - ・ コース上の要補修箇所、走行危険箇所、路面照度不足箇所の把握、対策整理、対応
  - ・ 大会開催前後のコース、沿道及び会場の清掃（ごみ処理を含む。）

## ②交通・警備業務

### (a) 交通警備計画の作成

道路管理者や警察等の関係当局と綿密な協議、調整を行った上で、交通規制や警備に関する計画を作成すること。

### (b) 各種申請書類の作成

道路管理者や警察等関係機関と協議のうえ、道路使用許可申請、道路占有許可申請等、大会の開催に必要な申請書類を作成すること。

(c) 警備員の手配及び交通安全対策資材の設置

上記計画に基づき、必要な警備員（雑踏警備業務2級検定の合格者を含む。）を手配し、ボランティアとともに現地に配置すること。

また、鉄柵、セーフティーコーン、ロープ等の安全資材を手配し、設置、撤去を行うこと。

(d) 自主整理員の手配及び配置

上記計画に基づき、アルバイトを雇う等の手段により、受託者の責任で必要な自主整理員を確保し現地に配置すること。

ボランティアに自主整理員の職を担わせる場合には、沿道警備に支障がでないよう、募集・管理方法について、各県警察等関係機関と協議のうえ適切な方法により行うこと。

(e) 警備員及び自主整理員の輸送

警備員及び自主整理員を現地に配置するための大型・マイクロバス、ドライバー、添乗スタッフを手配すること。

事前に警備員、自主整理員の輸送計画を策定し、乗車・降車のリハーサルを行うなど、円滑な配置に向けた準備を行うこと。

(f) 交通規制情報にかかる周知・広報

大会開催にかかる交通規制情報について、地域住民への周知、観光客を含めた広域的な周知を行うために、沿線自治体と連携して広報活動を行うこと。

○沿線住民へのチラシ配布等

・交通規制情報を掲載したチラシを作成し、通過市町村への全戸配布を行うこと。（市町村と調整の上、市町村広報誌への折り込みとすることも可）

・コース沿線に交通規制看板を設置し周知を行うこと。

○住民説明会等への参加

・各県や沿線自治体が行う住民説明会等へ参加し、説明資料の作成や会場設営などの補助業務を行うこと

○各レース会場周辺の事業者等との調整

・レース会場周辺にある、施設やテナント等を全て訪問し、大会概要の説明や大会当日における道路規制状況、迂回方法等の案内を行うこと。

○テレビ、新聞広報等を活用した広報

・テレビ、新聞広報等を活用し、観光客を含めた広域的な周知を行うこと。

(g) 計画の情報の共有

警備員、自主整理員、警備資器材の配置については、事務の効率化と関係者間での情報共有の必要性に鑑み、発注者が指定する方法によりインターネット上で情報共有すること。

- ・警備場所：エキシビジョンレース及び各ステージレースの会場
- ・警備時間（予定）

<エキシビジョンレース>

○会場設営警戒

2025年10月09日(木) 17時～10日(金) 8時

○会場各所配置

2025年10月10日(金) 8時～16時

<福岡ステージ>

○会場設営警戒

2025年10月10日(金) 17時～11日(土) 8時

○会場各所配置

2025年10月11日(土) 8時～16時

<熊本ステージ>

○会場設営警戒

2025年10月11日(土) 17時～12日(日) 8時

○会場各所配置

2025年10月12日(日) 8時～16時

<大分、宮崎ステージ>

○会場設営警戒

2025年10月12日(日) 17時～13日(月) 8時

○会場各所配置

2025年10月13日(月) 8時～16時

(h) 警備本部の設置・運営

- ・大会当日、大会本部と連携できるように警備本部を設置すること。
- ・警備本部と各地に配置した警備員との連絡体制を整え、問題が発生したとき等、警備本部から各警備員への指示が行えるようにすること。
- ・レース走行車列の先頭及び最後尾に警備車両を走行させること。
- ・上記警備車両の走行位置をリアルタイムで把握し、警備本部でその位置を常に確認できるよう必要な手段を講じるとともに、大会本部と情報共有できるようにすること。

(i) 救護本部の設置・運営、民間救急車の運用

- ・大会当日、大会本部と連携できるように救護本部を設置すること
- ・レース車列内に民間救急車両を2台走行させ、看護師、救急救命士を同乗させること。
- ・救護本部には、看護師1名以上を配置すること。
- ・救護本部には、簡易ベッド、救急セット等応急処置に必要な備品の他、低体温症の選手に備え、暖房器具や毛布等を配置すること。
- ・民間救急車両と救護本部間を無線でつなぐなど、負傷した選手の受け入れに支障がないよう備えること。

(j) 規制看板等の作成、設置・撤去

- ・上記計画に基づき、規制看板等を作成し、設置・撤去を行うこと。強風や降雨等の

場合であっても破損や緩みが生じないように工夫するとともに、大会終了後速やかに撤去し、撤去後は発注者から指示した看板等を除き法令に則り責任をもって処分すること。

(k) 関係当局との協議、調整

十分な安全確保のため、道路管理者や警察等の関係当局と綿密な協議、調整を行うこと。(※万が一想定外の事態が発生した場合は、損害賠償を請求する場合があります。)

③その他、大会運営に必要となる諸業務

詳細内容については、発注者及び受注者で協議の上決定する。

(2) マーケティング業務

①大会のセールスポイントや協賛メリット、協賛プランの検討

・ツール・ド・九州2025のセールスポイントや協賛メリット、具体的な協賛プランを検討し、提案すること。

②協賛金及び協賛物品の獲得

・営業活動を実施し、協賛金及び協賛物品を獲得すること。  
・獲得した協賛金額の10%を手数料として獲得者に支払うこととする。

③協賛企業の対応等

・エキシビジョンレースや各ステージレースの会場等でのブース出展レイアウトを検討、調整し、出展マニュアル(搬入出時間、経路、駐車場等)を作成するとともに、当日の設営や出展に立会いを行うこと。  
・協賛提供品や協賛バナー等の管理・運搬、設置撤去を行うこと。  
・準備期間及び大会当日に協賛企業の対応(ロゴマーク配布、広告掲出調整、招待、受付等)を行うこと。  
・大会期間中、協賛企業等の滞在者を対象としたVIPディナー等を企画し、準備、会場手配、当日の進行管理を行うこと。

④商標を活用した広報物品開発等のライセンス業務

・ツール・ド・九州の商標を活用した商品開発等に関するライセンスに関する業務を行うこと。

⑤オフィシャルグッズの製作、オンライン販売

・オフィシャルグッズのデザイン、製作  
・販売サイト開設企画、運営(受注、発送、在庫管理、売上、精算管理)

(3) 広報業務

ツール・ド・九州2025の成功に向け、国内外における大会の認知度を向上するとともに、国内における大会機運の醸成を目的とした効果的なプロモーションを実施すること。業務の実施にあたっては、プロモーションに係る計画を作成すること。

①大会公式HPやテレビCM、新聞広告、チラシ配布によるプロモーション

・ターゲット、実施時期や内容等について提案すること。  
・大会公式HP等の制作及び管理を行うこと。

- ・広告に使用する素材を提案し、発注者と協議の上制作すること。
- ・広告掲出に向けた調整を行うこと。
- ・広告に使用する素材を提案し、発注者と協議の上制作すること。
- ・広告掲出に向けた調整を行うこと。

#### ⑤自由提案によるプロモーション

- ・その他、WEBやSNS、雑誌等を活用したプロモーションや、動画制作、交通広告の活用、大型ビジョン・デジタルサイネージ、地域イベントへの参加、シティドレッシングの活用等、効果が高いと思われるものを提案すること。
- ・広告に使用する素材を提案し、発注者と協議の上制作すること。
- ・広告掲出に向けた調整を行うこと。

## 8 契約条件

- (1) 委託契約については、単年度契約とし、令和7年度は契約締結日から令和8年3月31日までを期間として契約する。
- (2) 上記7業務のうち、(3) 広報業務の内容に関しては、引き続き協議を行った上で今後決定することとする。
- (3) 本業務に係る委託契約については、ツール・ド・九州2025実行委員会が実施した企画提案審査会の結果に基づき締結しているところである。令和7年度の契約主体は、同実行委員会から会計処理の委任を受けた一般社団法人ツール・ド・九州とする。
- (4) 令和7年度の契約に係る業務内容及び契約金額については、企画提案審査会（令和6年12月24日（火）開催予定）における提案内容、見積金額を基本にしなから、令和6年度の委託業務の実施状況を踏まえて協議を行う。

## 9 その他

- ・受注者は、本業務の遂行上知り得た事項について、業務完了後も含めて第三者に漏洩してはならない。
- ・本業務にあたって、第三者のあらゆる権利を侵害しないこと。（侵害する恐れがある場合は、受注者の責任をもってその解決にあたること。）
- ・本業務に関連する一切の成果物について発生した著作権その他の一切の知的財産権は、すべて発注者に帰属するものとする。
- ・受注者は、本業務により得られる著作物について、発注者及び発注者が指定する第三者に対して、著作者人格権を将来にわたり行使しない。
- ・本仕様書に定めのない事項について定める必要が生じたとき、又は本仕様書に定める事項について疑義が生じたときは、発注者及び受注者で協議の上、定めるものとする。